

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>	非正規労働者に係る安全衛生管理の推進		<b>担当部局庁</b>	労働基準局安全衛生部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度～平成23年度		<b>担当課室</b>	安全課		田中 正晴		
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計 労災勘定		<b>施策名</b>	Ⅱ-2-2 安全・安心な職場づくりを推進すること				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第106条第1項		<b>関係する計画、通知等</b>	新成長戦略:「2020年までに労働災害を3割削減」 第11次労働災害防止計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	非正規労働者を多数雇用する業種における安全衛生対策の推進を図るため、先進的な安全衛生管理活動の取組事例を収集し、事業者が安全衛生活動に取組む参考となるようにそのポイント及び取組事例から構成されるマニュアルをとりまとめ、研修会等を通じて周知を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	アンケート及びヒアリングによる調査を実施し、非正規労働者に係る安全衛生管理の実態把握を行い、これをマニュアルとしてとりまとめたものを活用し、研修会を開催する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	<b>予算の状況</b>	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算		15	17			
		繰越し等						
		計		15	17			
	執行額			10	10			
	執行率(%)			66.7%	58.8%			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>			<b>単位</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>	<b>23年度</b>	<b>目標値 (年度)</b>
	研修会の参加者について、非正規労働者を含む事業場の安全衛生管理に取り組む上で、有益であった旨の評価を80%以上得る。		成果実績	%	-	東日本大震災の影響により、予定していた研修会は中止した。	89.2	-
			達成度	%	-		111.5	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>			<b>単位</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>	<b>23年度</b>	<b>24年度活動見込</b>
	研修会を開催し、200人以上参加させる。		活動実績 (当初見込み)	人	-	東日本大震災の影響により、予定していた研修会は中止した。	74	-
					-		(200)	-
<b>単位当たりコスト</b>	135,081円(人)		算出根拠	9,996,000(23年度支出額)÷74人(23年度アウトプット実績)				
<b>平成24・25年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	<b>24年度当初予算</b>	<b>25年度要求</b>	<b>主な増減理由</b>				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	派遣労働者の労働災害が増加しており、非正規労働者の労働災害を減らすことが課題であり、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	労働安全衛生法106条1項において、労働災害の防止に資するため国の援助が努力義務として定められていることから、本事業は国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	不要率が大きくなった主な理由として以下のような点が挙げられる。 ○委員謝金が当初予算より大幅に少なく済んだこと(当初1,653千円、委託実績630千円) ○事業場ヒアリング旅費が当初予算より大幅に少なく済んだこと(当初予算3,747千円、委託実績210千円) ○通信運搬費が当初予算より大幅に少なく済んだこと(当初予算3,750、委託実績433千円)
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札(総合評価落札方式)を採用しており、競争性は確保されている。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	研修会参加者が見込みを下回ったため、コストが予定よりやや多くかかった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業は、労災の予防のため、事業者に対し支援を行うものであり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当で
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	委託費の殆どが研究員への謝金に使用されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は、都道府県労働局や労働基準監督署と連携して、非正規労働者の労災防止への取組が進んでいない事業場に対し、講習会を開催することとしおり、成果目標も上回っていることから、効果的な実施を図っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	実績等を勘案し目標値を設定した。
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	研修会参加者が見込みを下回った。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	マニュアルとして厚生労働省HPにも掲載し、周知・活用を図っている。
点検結果	マニュアルの周知等、事業場における基本的な労働災害防止対策に関する指導については、一定の成果を得たと考えており、平成23年度で事業を廃止した。		
予算監視・効率化チームの所見			
—			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	931

※平成23年度実績を記入

非正規労働者に係る安全衛生管理の推進

厚生労働省  
(10百万円(23年度執行額))



一般競争入札

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)  
(10百万円(23年度執行額))

非正規労働者を含めた安全衛生管理の実態把握、  
安全衛生管理活動に係る事例集の作成、同事例  
集等を活用したセミナー開催

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員経費、臨時要員経費	6.3			
諸経費	作業費、通信運搬費、印刷製本費、 会場費	2.2			
管理費	事務経費	0.9			
謝金	委員会出席謝金、セミナー講師謝金	0.6			
消費税		0.5			
旅費	委員会出席旅費、セミナー講師旅費、 セミナー研究員旅費	0.2			
受託者負担	人件費等	-0.7			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ &コンサルティング (株)	アンケート及びヒアリングによる調査を実施し、非正規労働者に係る安全衛生管理の実態把握を行い、これをマニュアルとしてとりまとめたものを活用し、研修会を開催する。	10	5	58.8
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					